



2011～2012年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日／毎週火曜日 12：30 例会会場／豊川商工会議所 会長／山城康司 幹事／滝下 勲 会報委員長／土井昌司
事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP／<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：心と身体を健康に

| | | | | | |
|----------------------------------|------|------|------|-----|----------|
| 本年度第35回 通算1243回 平成24年3月27日(火) | 出席報告 | 会員総数 | 出席者数 | 出席率 | 3/6修正出席率 |
| | | 56名 | 33名 | 66% | 100% |

ゲスト：市内6高校 生徒28名 教諭7名 ビジター：(なし)

★会長あいさつ

山城康司会長



こんにちは。暖かくなってきました。二週間ぶりの例会です。いろいろ報告させていただきます。3月18日には、豊川市

陸上競技場の竣工イベントが行われました。地元の豊川高校、豊川工業高校の皆さんには、いろいろとご協力頂きましてありがとうございます。20日に本宮山道場が開催されました。同じ20日に豊川稲荷で「いなり寿司フェスタ」開催され、幹事さんにご出席頂きました。

★幹事報告

滝下 勲幹事

例会臨時変更のお知らせ

次回例会について

宮地家の葬儀のクラブとしての対応報告

野中家の葬儀のクラブとしての対応報告

★波津久智昭会員の退会あいさつ



こんにちは。突然ですが、人事異動が生まれて、皆さんとお別れすることになりました。尾張一宮に4月から赴任します。豊川

宝飯RCは、私にとって初めてのロータリークラブで大変思い出深いです。本当にありがとうございました。後任は、碧南支店から参ります。後任も是非とも可愛がって頂ければと思います。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

★新世代奉仕委員会担当例会

★委員長あいさつ

鈴木啓仁委員長

こんにちは。本日は、春休みの中、各高校の先生方、生徒の皆さんにお越し頂きましてありがとうございます。また、年度末で4月からは1学年あがる忙しいときにありがとうございます。

今回は、7月に活動計画などの報告をして頂きました。あれから8ヶ月経ちまして、様々なボランティア活動をされてきたと思います。その活動についてご報告して頂きまして、ロータリーメンバーとして刺激を頂ければと思います。よろしくお願いします。

前回、7月に活動計画などの報告をして頂きました。あれから8ヶ月経ちまして、様々なボランティア活動をされてきたと思います。その活動についてご報告して頂きまして、ロータリーメンバーとして刺激を頂ければと思います。よろしくお願いします。

◎豊川工業高等学校

豊川工業ボランティア部の発表を始めます。私たちは、新3年生4人、新2年生10人の14人で活動しています。



活動は、地域のお祭りとしては、ゆうあいの里夏祭り、天平の里、豊川養護学校などに行き、スタッフとして参加させて頂き、地域の方々と交流して人とのつながりを大切に

ています。子どものものづくり体験教室では、月に一度、豊川少年少女発明クラブが主催している教室で、小学生を対象にものづくりの楽しさや奥深さなどを伝えています。私たちは、子どものものづくり体験教室の講師の一員として教えています。そして、ものづくり教室に何度も参加している小学生には、博士の称号としてプレゼントが贈られるのですが、そのプレゼントは、私たち工業生が製作しています。旋盤で製作したコマ、基盤をハンダ付けした電子オルゴール、アーク溶接で作った蛙のオブジェです。3種類の作品を子どもたちにプレゼントしました。

そして、毎年私たちボランティア部が、メインイベントとして主催しているマンリアートキャンドルナイトを、今年度も開催することが出来ました。今年は「想」という字に思いを込めました。前年は、大きな震災があったので、復興を祈ると共に、普段当たり前に感じている人とのつながりや、相手を思うという意味を込めてこの字を選びました。このキャンドルナイトは、4月から準備を始めて、八南小学校、諏訪保育園、金屋児童クラブ、天王小児童クラブ、三蔵子児童クラブなど色々な方々に協力して頂き、12月24日に「想」という文字を描くことが出来ました。手伝ってくれた小学生に思いを書いてもらい、キャンドルに貼り付けて、地域の皆さんと点火しました。とても美しい光を見せてくれました。

これからの活動としては、今までやってきた活動を継続し、これからは、また新しいことをどんどんやっていきたいと思っています。ご清聴ありがとうございます。

◎国府高等学校



国府高校の活動報告をします。生徒会の今年度後期のボランティア活動として

は、例年通り11月に赤い羽根共同募金活動を、12月に私たちが普段利用している通学路を中心とした学校周辺の清掃活動をそれぞ

れ行いました。

11月10日、11日に実施した赤い羽根共同募金活動は、活動に先立ち、赤い羽根共同募金活動とは具体的にどのようなものか、生徒の皆さんは知っているのか、また主体となる生徒会執行部の私たちが生徒のみんなに明確に説明できるのか、ということを考えました。そこで、私たちが調べたことをクラスに掲示し募金協力のポスターも校内に掲示しました。このようにして、ここ数年、あいまいな目的のとも、ただ募金活動に参加するという傾向があったのに対し、今年度は生徒会執行部も生徒の皆さんも明確な目的のもと、達成感のある募金活動を行ったと思います。

12月6日に行った通学路を中心とした学校周辺の清掃活動は、2学期期末テスト最終日に生徒会執行部と呼びかけに応じたハンドボール部、野球部、写真部を中心に多くの生徒の皆さんが参加し、3年生の皆さんも受験勉強の合間をみて参加してくれました。主にゴミ拾いを行いました。タバコ、空き缶だけではなく、金属の棒、分別が難しいものなど、普段歩いても気づかないところのゴミも拾いました。大勢の生徒の皆さんがグループ毎に多方面に分かれて一斉に清掃活動を行ったこともあり、学校周辺が綺麗になった気がします。この清掃活動に参加した生徒会執行部も生徒の皆さんも、きっと誰もが自分の心まで綺麗ななったことだと思います。来年度も私たちに出来ることをやる、必要とする人たちが居る限り、「継続は力なり」の精神で、前期のゆうあいの里ふれあいセンターにおける除草作業、募金活動と清掃活動の3つのボランティア活動をそれぞれ時期が到来したら行っていきます。そして、私たち生徒会執行部は、この3つの活動が一人でも多くの生徒がボランティア活動に興味を持ち、参加し、その後も様々なボランティア活動を継続して行っていくキッカケとなるようにするためには、どのように呼びかけて行ったら良いかということ今年度以上に考えていけたらいいと思います。来年度も国府高校生徒会をよろしくお願いします。以上で報告を終わります。



◎御津高等学校



御津高校ボランティア部の活動報告をします。去年の4月から新企画として、

エコキャップ収集を始めました。職員室で先生方が集めているのを見て、ボランティア部で全校に広めようという考えから始まったものです。集め方は、部員がいる各クラスにエコキャップを入れる袋を設置し、部員が定期的に回収しています。

文化祭では、点字サークル苺さん、くすのき授産所さんの協力の下、点字体験とお菓子販売をしました。たくさんの方が体験し、お菓子を購入してくれたので、去年より良い文化祭になったと思います。その他には、ワールドボランティア、エコキャップを展示し、多くの生徒にボランティアのこゝについて知ってもらいました。

今年からボランティア部校内活動で、点字本作りを始めました。豊川宝飯ロータリークラブさんから頂いた支援金で点字盤を3台購入しました。今、「葉っぱのフレディ」という本を点訳しています。点字サークル苺さんに分ち書きのやり方や打ち方を教えてもらいながら、楽しく作成しています。大変だったことは、分ち書きの書き方を間違えてしまい、最初からやり直したことです。

お年寄りの方の介護用品として使って頂くために、校内と家庭で余っていた布とビーズを使って円座を作る事にしました。比較的簡単に作れるものなので、20個以上作ることが出来ました。来年、老人ホームにプレゼントするように準備しています。

校外ボランティアについて発表します。豊川市社会福祉協議会主催の青少年ボランティア体験学習、豊橋善意銀行主催の高校生夏休みボランティア体験奉仕活動や国府の市ボランティアに参加したりしました。どれも良い体験をさせて頂きました。

◎宝陵高等学校

私たちの学校では、長い間ボランティア活動に携わっていたボランティア部が



昨年廃止され、新たに生徒会が中心になって、多くの生徒に広くボランティア活動を呼びかけるようになりました。また、ボランティア担当の先生によって、募集される地域の様々なボランティア活動に行くようになりました。

この一年間に宝陵高校の生徒が参加したボランティア活動は、4月と10月のあしなが学生募金活動、7月から8月にかけて行われた穂の国荘夏祭り、ケアハウスみその夏祭り、新栄ケアセンターそよ風夏祭り、ケアリゾートオリーブ夏祭り、ホテルの郷納涼祭り、秋桜の里納涼祭、千両荘納涼会、ゆうあいの里夏祭り、9月に行われた人生イキイキ祭り10月のふれあいフェスティバル、若竹荘たけのこ祭、シーサイド吉前文化祭、11月のホテルの郷としなが祭、さわらび文化祭、12月と3月に行っている学童保育支援などです。これらのボランティア活動に参加した生徒数は、45名で、延べ81日に及んでいます。私は、あしなが学生募金、施設ボランティア、学童保育などで15日間活動をしました。

様々なボランティア活動を通じて、様々な人たちと出会い、多くのことを学びます。そして、共に生きるとはどういうことなのか、自分は人のために何が出来るのか、自分がいかに周りの人たちによって生かされているのか、というようなことを深く考える機会を与えられます。人は誰でも一人だけで生きていくことは出来ません。離れ小島で、或いは将来宇宙空間でたった一人で生きていくことが出来るかもしれません。しかしそれは、人間らしい生き方とは言えないでしょう。多くの人の中で、支えあい、助け合い、喜びや悲しみを分かち合ってこそ、本当に人間らしい生き方と言えるのではないのでしょうか。すべての人が手をつなぎあい、周りの人に優しい気遣いが出来る社会、孤独死などおこらない社会、そういう社会を作る為に、地道なボラン

ティア活動が今こそ求められるのではないのでしょうか。私たちは、そういうボランティア活動を目指していきたいと思っています。

◎小坂井高等学校



本年度は4月に東日本大震災の募金を行いました。この大震災では、たくさん

の人が被害を受け、この大震災の復興のために世界中から様々な形で救援活動がありました。本校でも、募金と言う形で復興の手助けをしようと活動し、沢山の生徒や教師の協力により、沢山の寄付金を被災地に送ることが出来ました。5月には、豊橋動植物公園で行われた善意フェスティバルに7名の生徒が参加しました。福祉施設や慈善団体の人たちと共に、ゲームコーナーの運営、模擬店や野外ステージなどを行いました。このような大きなボランティア活動にはなかなか参加できないので、とても良い経験が出来たと思います。また8月には、豊橋善意銀行主催のボランティア活動に参加しました。このボランティア活動では、児童養護施設や老人福祉施設の慰問、入所者との交流といった活動を行いました。9月の文化祭では、小坂井地区の授産施設もくせいの花の方々を招待し、様々なものを販売して頂きました。この文化祭のクラス企画で出たバザーの収益金は、愛知県共同募金会へ寄付しました。11月には、赤い羽根共同募金を行いました。生徒会役員が朝、昇降口前に立って、生徒の人たちに募金を呼びかけ、クラスでは文化委員も集金しました。ここで集まったお金は、赤い羽根共同募金会を通じて恵まれない人たちのために使われます。12月には、クリーン大作戦と呼ばれる校内や通学路、学校周辺の広い範囲での清掃活動を行いました。この活動には、部活動を中心とした沢山の生徒が参加してくれて多くのゴミを集めることが出来ました。このクリーン大作戦を行うことによって、小坂井高校が地域に貢献できたと思います。3月には、何名かの生徒が地域の桃里保育園にボランティア活

動を行いました。ここでは、小さい子を通じて社会との関わりを持ってボランティア活動が出来たと思います。以上のボランティアは、生徒会や有志の人たちが中心となって活動してきました。生徒会では、全校の生徒に校内放送やポスター、生徒会通信などを通じて呼掛けを行っています。それらによって、本校では様々なボランティア活動を行って来ました。しかし、生徒会では他にも仕事があるので、あまり多くのことは出来ません。ですが、やる気のある有志の方々と共に、少しでも多くの活動をし、人の役に立てるようにより一層努力していきたいと思っています。

◎豊川高等学校

豊川高校のボランティア活動報告をします。生徒会と20の部活動が活動をし



ました。私たち生徒会では、6月10日から0泊3日で宮城県石巻市牡鹿半島に行き、東日本震災ボランティアをしました。生徒13名、教師3名の16名が参加し、ガレキの撤去や避難場所でのサラダ作りと掃除を行いました。被災者の方々の助けになれるようにボランティアに行ったつもりでしたが、逆に被災者の方々の優しさや強さに触れたことで、自分が助けられ成長できたような心温まる素晴らしいボランティア体験だったと思っています。本当に貴重なボランティア体験でした。また、このような体験から学園祭で震災や原発に関する企画を行ったり、フリージャーナリストの広瀬隆さんを招いて講演して頂いたりすることも出来ました。このような活動も様々な地域と繋がり合える貴重な自主活動の一つだと考えています。他にも7月に行われたサマーセミナーでは、市役所の方をお呼びして豊川について講座を開いたり、B-1 グランプリに参加してお手伝いをしました。また、多くの震災募金、1億円募金を行いました。このように規模の大きい小さいに関わらず、多くのボランティアに参加し、沢山の人々や地域社会の役に立つことが出来たと考えています。

これからも率先して、ボランティアのできる豊川高校生徒会として頑張っていきたいと思いをします。

校外で活動してくれた部活動の報告をします。インターアクト部では、月に1回、慰問が出来るように連絡を綿密にして、養護老人ホームや児童養護施設での除草活動や児童・お年寄りとの交流など積極的な活動を行っています。吹奏楽部、和太鼓部、チアリーディング部、ダンス部では、周辺の地域で演奏・演技を行い、地域の方との交流を深めています。男女駅伝部では、地域のマラソン大会が行われる時に、ランナーの安全確保、周辺のゴミの回収など、選手としてだけではなく、ランナーのサポート役として多くの大会に貢献しました。茶道部と将棋部では、茶道や将棋を通して、地域の皆さんとの交流を深めています。写真部では、11月、12月に駅伝大会の撮影をして写真のデータを印刷会社や市役所に提供しました。女子バスケットボール部では、地域周辺のゴミ拾いをしました。このように豊川高校では、各部活動がそれぞれ分野で個々の持ち味を發揮し、ボランティア活動に貢献しています。各部活動の良さをボランティアで發揮することで、より地域社会との繋がりも増え、目標である地域に貢献できる豊川高校の姿へ一歩一歩近づいている気がします。

最後に、校内やその周辺で活動してくれた部活動について紹介します。女子ソフトボール部では毎日、女子バトミントン部は月に1～2回、女子バレーボール部は週2回、水泳部は11月から毎朝、校内や学校周辺のゴミ拾いなど清掃活動を行っています。美術部、書道部では、学園祭で行われた公募展に出展された絵画やポスターの展示や片づけを行いました。これを見てわかるのは、やはり自己管理の大切さです。自分のことが出来ない人が他人を助けることは出来ません。それは学校も同じです。自分たちの手で、自分たちが学ぶ学校を綺麗に管理できてこそ、その次にある地域社会への貢献も出来る様になると思います。それを目指し、これからも自主性のある学校づくりに励んでいきます。

これからも学校の内外で活動できる豊川高校を目指していきます。ありがとうございます。

◎ボラン・コラボ穂の国7交流会

◎テーマ

みじかのできるボランティア

◎まとめ

- 地域の方々に積極的に挨拶をして交流を深めていきたい
- 一人暮らしのお年寄りや身体の不自由な人の手助けが出来たら良い
- 周辺地域の清掃活動
- 保育園での交流
- エコキャップ収集
- 高齢者との交流
- 学生の力だけでは出来ないボランティアで、人との繋がりを大切にしていきたい
- 学校周辺の公共の場の清掃活動
- ゴミを捨てないことを地域の人達に伝える



★ニコニコボックス

- 夏目雅康会員 竣工イベントありがとう
- 大沢茂樹会員 陸上競技場竣工おめでとう
- 高桑 耐会員 ドリームカップ無事終了
- 山田久就会員 誕生日を祝って頂き
- 近藤哲司会員 いろいろ祝って頂き

クラブ目標：会員増強純増 2名

クラブ目標：R財団寄付額 \$100/人

現在の状況

会員増強・・・・・・・・・・純増1名

R財団寄付額・・・・・・・・\$81/人

会報担当者：土井昌司会員、来山健一会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。